



TITLE:

「平成2年度漢籍担当職員講習会 (漢籍電算処理)」の開催

AUTHOR(S):

CITATION:

「平成2年度漢籍担当職員講習会(漢籍電算処理)」の開催. 静脩 1991,
27(3): 12-13

ISSUE DATE:

1991-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37102>

RIGHT:

人を見ながら受講生の名前を呼ばれた。そういえば、先生は、昨日、受講生席の後方で講義を聞いておられた。その時に覚えられたのだろうか。受講生一同ただただ感心するのみ。

8月2日：今日の午後は、4班にわかれての共同研究討議が行われた。あらかじめ準備された各人の発言要旨をみても、今日の討議からも、それぞれいろいろな問題をかかえて業務に取り組んでいることがわかる。ほぼ共通してあげられていたのが、「予算と人員」の不足である。「人」の問題で

は、特にシステムまわりを担当している方々の、要員の確保を望む声は切実であった。限られた「予算と人員」とよりよい図書館サービスをどうバランスさせるか、難しい問題である。

明日でこの研修が終わる。受講生全員、病気、怪我なしで修了式を迎えられそうだ。第1日目の懇親会を初めとして、見学先でのいくつかの懇親会、寮での交流などなど、昼の研修にくわえて、夜の研修も充実していた。この研修に気持よく送り出して下さった職場の皆さん、どうもありがとう。来週から、職場に戻って仕事にがんばらなくては。

「平成2年度漢籍担当職員講習会（漢籍電算処理）」の開催

大学図書館、公共図書館、その他の図書館施設等において、漢籍の整理等の業務に従事する図書館職員に、学情報システムの環境整備の一環として、漢籍ならびに中国の文献目録を電算処理することに関する基本的な知識と技術の普及に重点をおく講習会で、文部省と人文科学研究所附属東洋学文献センターの共催で毎年開催される。本年度は下記のとおり開催され、国公私立大学17校、公共図書館5館、から合計24名が受講した。

記

第1日：10月1日（月）

開講式、オリエンテーション：人文科学研究所附属東洋学文献センター長

講演「人文科学とデータベース」星野聰（大型計算機センター教授）

講義「東洋学文献類目の編纂とフォーマット」都築澄子（東洋学文献センター事務官）

講義「東洋学文献類目の計算機処理」河野典（大型計算機センター技官）

講義「東洋学文献類目と漢籍目録の電算処理」勝村哲也（東洋学文献センター助教授）

第2日：10月2日（火）

講義「漢字入力に便利な三角編号法」松村哲也（東洋学文献センター助教授）

講義「計算機処理入門」隅元栄子（大計算機センター技官）

講義「データベースについて」川原稔（大計算機センター助手）

見学 大計算機センター

実習 データベース検索（1）

第3日：10月3日（水）

講義「知識情報処理」石橋勇人（大計算機センター助手）

講義「マルチメディアと言語処理」久保正敏（大計算機センター助教授）

実習 データベース検索（2）

第4日：10月4日（木）

講義「UNIXと情報検索」安岡孝一（大計算機センター助手）

講義「漢字コードの話」小澤義明（大計算機センター技官）

実習 データベース検索（3）

第5日：10月5日（金）

講義「大学間ネットワークサービス」櫻井恒正（大計算機センター技官）

講義「情報ネットワーク」金澤正憲（大計算機センター助教授）

質疑応答

閉講式：人文科学研究所附属東洋学文献センター長

受講者から寄せられた主な感想は次のとおりである。

1. 自館の電算化を考えた上で参考になり、有意義な講習会であった。
2. 人文科学における JIS 漢字の範囲を越えた漢字処理を実践しているデータベースにふれて、大変参考になった。
3. 将来における人文関係の古典や参考図書の電算化、特に CD-ROM 化に興味をもてるようになった。
4. 漢字の電算処理に関する講義は参考になった。
5. CHINA3 をはじめとするデータベースを実際に検索できたのでよかった。
6. 実習に割り当てられた端末をもっと増やしてほしい。

（人文科学研究所附属東洋学文献センター）

「平成2年度漢籍担当職員講習会（中級）」の開催

大学図書館、公共図書館、その他の図書館施設等において、漢籍の整理等の業務に従事する図書館職員に、漢籍の取り扱いに関する知識と技術を普及し、学術資料としての漢籍の有効な利用体制の整備に資することを目的とした講習会である。中級は4年に一度開催される。この講習会は、文部省と人文科学研究所附属東洋学文献センターの共催で開催されるもので初級修了程度の漢籍知識を有する者を対象としている。

本年度は下記のとおり開催され、国公立大学11校、公共図書館4館、から合計20名が受講した。

記

第1日：11月26日（月）

開講式、オリエンテーション：文部省、人文科学研究所附属東洋学文献センター長

講演・「漢籍一般」梅原郁（人文科学研究所教授）

講演・実習「史部書」礪波護（人文科学研究所教授）

第2日：11月27日（火）

講演・実習「経部書」小南一郎（人文科学研究所教授）

講演・実習「子部書・敦煌」高田時雄（人文科学研究所助教授）

第3日：11月28日（水）

講演・実習「集部書」荒井健（人文科学研究所教授）

見学・附属図書館